

教科	数学	科目	数学B	単位	2	対象	第2学年 A組～E組
使用教科書 (出版社)	高等学校 数学B (数研出版)		使用教材 (出版社)	4プロセス 数学B (数研出版)			

月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	平面的ベクトル 有効線分によるベクトルの和・差・実数倍 成分による計算 単位ベクトル ベクトルの平行	ベクトルの意味を理解し、有向線分を用いてベクトルの和・差・実数倍が求められる 成分表示について理解し、計算できるようにする 単位ベクトルの意味を理解する ベクトルの平行条件を利用して問題を解けるようにする	定期試験と平常時の総合評価	6
5月	ベクトルの内積 ベクトルのなす角 成分による内積の計算、垂直条件 ベクトルの大きさと内積	ベクトルの内積の定義を理解し、大きさとなす角から内積を求められるようにする 成分による内積の計算を理解し、計算できるようにする 垂直条件を利用して問題を解けるようにする $ \vec{a} + \vec{b} ^2 = (\vec{a} + \vec{b}) \cdot (\vec{a} + \vec{b})$ を利用して内積やベクトルの大きさが求められるようにする $\vec{a} \cdot \vec{b} = \vec{a} \vec{b} \cos \theta$	定期試験と平常時の総合評価	6
6月	位置ベクトル、 一直線上にある点、2直線の交点の位置ベクトル	位置ベクトルの一意性を理解し、位置ベクトルを利用して一直線上にある点や2直線の交点の位置ベクトルを求められるようにする 線分の長さや垂直条件を内積で表して考察することができるようにする。	定期試験と平常時の総合評価	8
7月	直線のベクトル方程式と媒介変数表示 点の存在範囲 円のベクトル方程式	直線のベクトル方程式や媒介変数表示を理解し、点の存在範囲を考えられるようにする 円のベクトル方程式について理解する	定期試験と平常時の総合評価	4
9月	空間座標 空間のベクトルと成分 空間ベクトルの内積	空間の座標の定義を理解し、ベクトルを平面と同じように空間においても使えるようにする	定期試験と平常時の総合評価	8
10月	空間ベクトルの図形への応用、位置ベクトル、 同じ平面上にある点、座標空間における図形、球面の方程式	空間における問題をベクトルを用いて解く方法を演習を通じて理解させる	定期試験と平常時の総合評価	8
11月	数列と一般項、 等差数列の一般項と和	数列の一般項(第n項)を n で表せるようにする 等差数列について、一般項や初項から第n項までの和を求められるようにする 等差数列の与えられた2つの項から、初項や公差を求められるようにする 等差数列の和の最大または最小になる場合を求められるようにする	定期試験と平常時の総合評価	8
12月	等比数列の一般項と和	等差数列について、一般項や初項から第n項までの和を求められるようにする	定期試験と平常時の総合評価	4
1月	Σ の計算 階差数列	和の記号 Σ について理解し計算できるようにする 階差数列を利用してもとの数列の一般項を求められるようにする	定期試験と平常時の総合評価	6
2月	いろいろな数列 漸化式	部分分数分解や群数列の考え方を利用して数列の和を求められるようにする 漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められるようにする 3項間の漸化式を解けるようにする	定期試験と平常時の総合評価	8
3月	数学的帰納法	数学的帰納法という、数学独自の証明法を、演習を通じて理解できるようにする	定期試験と平常時の総合評価	4